

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

木育ぬくもりの家

グループの名称

あったかい家つくらば隊

直近採択グループ番号

06-0296-0743

(グループ代表者)

代表者名

服部 明人

代表者印

代表者所属先

株式会社萩原材木店

代表者所在地

長崎県佐世保市大和町1-1

代表者電話番号

0956-34-2211

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社萩原材木店

事務局担当者名

米良 洋行

印

事務局郵便番号

857-1165

事務局所在地

長崎県佐世保市大和町1番地1

事務局電話番号

0956-34-2211

事務局FAX

0956-34-2215

事務局担当者E-mail

hagiwara@tiara.ocn.ne.jp

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		1	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		1	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		4棟				
		400㎡	その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0棟				
		0棟			0㎡				
		0㎡							
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	申請が確実で過去に補助金の交付を受けたことのない会社を優先し、中でも着工時期の早い物件を優先することを基本原則とする。								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 木育ぬくもりの家	(地域型住宅供給対象地域) 長崎県、佐賀県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) あったかい家つくらば隊	(結成年) 2016年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0296-0743	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	長崎県、佐賀県に適した長期優良住宅、認定炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロエネルギー住宅の推奨。 断熱性能等級4を最低基準とする。 耐震等級2を最低基準とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	職人による伝統的な技術を基に耐震や耐風に優れた家づくりを行う。 新しい技術を取り入れ、長崎県、佐賀県に適した耐震性、断熱性、快適性のある家づくりを行う。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	立地条件と周辺環境を考慮し開口計画、通風コントロールを心がける。 台風が多い地域なので瓦で施工する際には、防災瓦とする。	◎
④①～③の背景	2020年の省エネ基準義務化に向けて技術の向上と長期優良住宅、認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロエネルギー住宅へのステップアップとする。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	HEMSや太陽光発電の導入を検討する。 高効率給湯器や節水型設備機器を採用する。	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 土台は、105角以上を使用する。 柱は、105角(通し柱120角)	◎
	①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 断熱材の熱抵抗値を天井は4.0以上(屋根は外皮計算に基づいた値)、壁は2.2以上、床は2.2以上(外気に接する部分3.3以上)を使用する。	◎
	①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 断熱材やサッシ及び設備など製品選定を設計者、施工者、納材店と協議しグループ内で標準使用を選定する。	○
	②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 断熱材などの下地材を統一して供給と施工の安定化を図る。	○
	②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 使用する材料の規格を統一することにより、在庫負担の軽減や手配ミスを防ぐ。	○
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局が中心となり、グループ内で施工方法や建築資材を検討し生産体制の効率化に向けた情報共有を行う。	◎
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 施工品質や技術、知識の向上に向けて、建材メーカーの商品勉強会の開催や各種団体が実施する研修会に参加するように情報発信する。	◎
	b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 省エネ技術講習に則った設計、施工を基準とする。
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール		<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: チェックリストを基に設計者、建築、設備施工者がチェックする。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール		<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: JKサポートセンターの予算書・概算見積書作成サービスを使用する。見積り明細の細分化、拾い漏れの防止、わかり易さ、提案のスピード化を図る。標準価格に基づいた適正価格での受注に努める。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組		<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: エスクロータイプの完成保証付き住宅を推奨しお客様の建築資金を守る。	○
c	① 週休2日制の導入の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③ 社会保険への加入	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	④ 安全及び健康の確保のための取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	フラット35Sを推奨する。		○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 木育ぬくもりの家	(地域型住宅供給対象地域) 長崎県、佐賀県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) あったかい家つくらんば隊	(結成年) 2016 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0296-0743	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関のサービス「快適充実の家 住宅履歴の図書館」の活用	○
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴の図書館より、定期点検の案内が送られる。	○
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 工務店と施主は、快適充実の家のサイトより履歴の確認ができる。	○
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関による点検の代行サービスを利用する。	○
		②-2 補修の共通ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検や補修の内容が住宅履歴の図書館に登録されるためサイトより確認できる。	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: OB施主を対象とした相談会・リフォームフェアを開催する。	○
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: OB施主を対象とした相談会・リフォームフェアを開催する。	○
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: OB施主を対象とした相談会・リフォームフェアを開催する。	○
	④ 維持管理委員会等の設置	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:			
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関の完成保証システム(エスクロー決済システム)を利用する。	○	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関と連携し、省エネ基準の義務化に向けた技術講習を行う。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵担保責任保険の基準に則った施工を行う。	○
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵担保責任保険の検査を受ける。	○
	③-1 需給計画の策定	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 職長、若手職人の知識と技術の習得を促し、施工精度の安定化を図る。	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 33 今年度の参加目標人数 5	
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 9 今年度の参加目標人数 5	
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局にて講習会日程を作成し、構成員へ配布し参加を呼び掛ける。	○
c	① 新たな技術等の導入	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 木育ぬくもりの家	(地域型住宅供給対象地域) 長崎県、佐賀県												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) あったかい家つくらば隊	(結成年) 2016年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0296-0743													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	主要構造材(土台、柱、梁、桁)に合法木材を50%以上利用する。 合法木材を利用するにあたり、合法木材証明書及び、出荷証明書を必要に応じて添付する。												
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上												
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<pre> graph LR A[原木供給者] <--> B[製材業者] B <--> C[木材市場] C <--> D[プレカット] D <--> E[木材建材販売店] E <--> F[工務店] F <--> G[設計事務所] </pre> <p>①川下側から川上側への物件情報の提供。 工務店、設計事務所から木材販売店へ物件の情報提供。 木材建材販売店からプレカット、木材市場へ物件の情報提供。 木材市場から製材業者、原木供給者へ木材必要量の情報提供。 ②①の情報に基づいて、川上側から川下側への地域材の供給。 原木供給者、製材業者、木材市場は出荷量の調整を行う。</p>												
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の原木、製材、市場、プレカット、流通業者と相互間が連携し把握に努める。												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:												
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 計画物件、上棟予定を隔月報告する。												
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 30枚												
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 180坪												
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 10枚												
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 10枚												
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 三川内焼、有田焼、波佐見焼等の陶器を使った手洗い鉢を活用する												
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域に合った屋根材や外壁材を取り入れる。												
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域住民同士のコミュニケーションが図りやすいデザイン、外構を取り入れる。												
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域の景観ガイドラインに沿った設計でサインを取り入れる。												
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和室の有無にかかわらず、内外装に無垢材を使用し、和の要素を取り入れる。												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。													
カ. その他														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
	東日本大震災の復興に資する取組													
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	熊本県産の杉やヒノキを活用する。												

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 木育ぬくもりの家	(地域型住宅供給対象地域) 長崎県、佐賀県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) あったかい家つくらば隊	(結成年) 2016年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0296-0743	

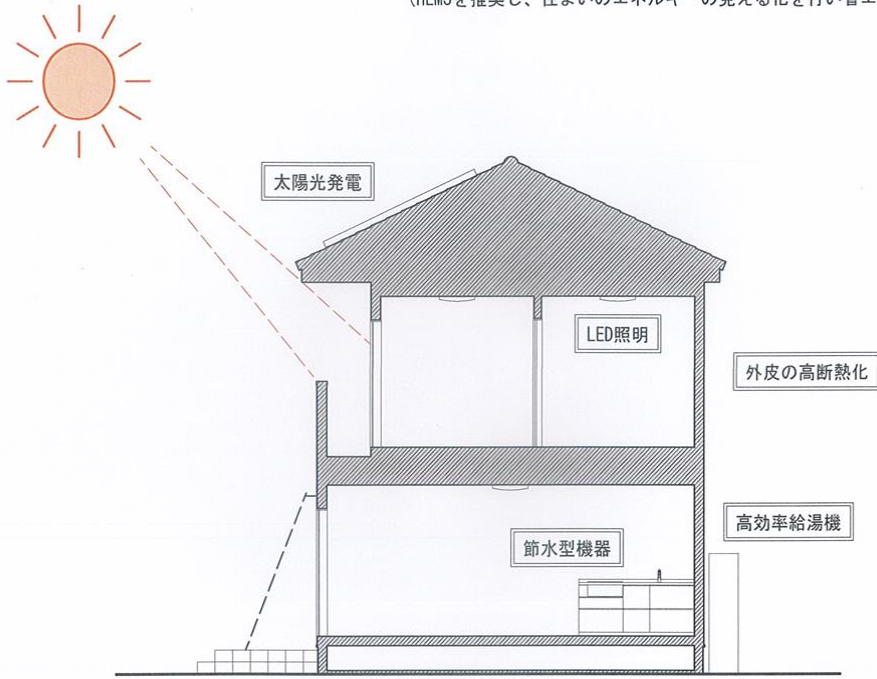
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

- ・省エネ効率の高い冷暖房機器の推奨
- ・高性能サッシの推奨
- ・高断熱浴槽の推奨
- ・太陽光発電の推奨
(ゼロエネにおいては創エネ設備を必須とする。)
- ・HEMS導入の推奨
(HEMSを推奨し、住まいのエネルギーの見える化を行い省エネへの意識を高める。)



- ・軒の出や庇を活用し冬は日差しを取り込み、夏は日差しを遮るように設計プランを立てる。
- ・通風を良くし、冷暖房費が削減できるように間取り計画を行う。
- ・住まい方の提案として、よしずや緑のカーテンなどの夏の日差しを遮るような対策を施主へ提案する。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。